



Akita Premium Collection
プレコル
 アキタ プレミアム コレクション
雪国ばなな
 美郷町

東南アジアや南米など南の国の果物・バナナが、雪深い内陸の美郷町で栽培・販売されている。「まさか、そんなバナナ」と、ベトナムやジャバガが口をつくほど「雪国ばなな」はインパクトがある。栽培しているのは同町土崎の農産物加工販売会社「秋田食産」

(佐藤良一社長)。ダイコン栽培からいぶりがっこへの加工、販売まで一貫して行うなど農業の6次産業化を推進する中で、4年前にコマ偏重からの脱却を図る起爆剤として注目したのがバナナをはじめとする南国生まれの果物だった。

無農薬の安心感

無農薬栽培ゆえの害虫対策、光合成しにくい冬の加温機による室温調整や水やりなど、手探りで試行錯誤を重ねた。腐心のないあって、翌春には果樹がそれぞれ急成長し購入時高さ1.5メートルだったバナナの苗は4.5メートルに伸びた。

秋の初収穫を心待ちに、より付加価値を高めようと、健康志向から人気が高まっていたスムージーへの加工を思い立った。ミキサー導入などの開発費をクラウドファンディング「FANAKITA」(ファンあきた)で募って、10月から同社の農産物直売所「コムニタみさと」で提供。続いて生食の「雪国ばなな」の販売も開始した。

甘く豊かな香り

スムージー(300ミリ)。税込み800円、バナナ1本600〜900円(税込み)という輸入物に比べるとかなり高価だが、希少さや高い注目度に加え、地場



完熟したバナナ。
1本600~900円(税込み)

秋田産熱帯果物 そんなバナナ!?

4年前から栽培

「九州や瀬戸内地区など温暖な地域で国産バナナの栽培が始まったところで、希少価値も高いことから、耐寒性のある熱帯の果物を栽培している岡山県内の農業法人で栽培方法を学びまし

た」と長男で生産部長の佐藤雄大さん(31)。
この法人からバナナ、パイナップル、グアバ、コーヒーの苗を各20〜60本購入し、町内2カ所に用意した3棟のビニールハウスで2018年10月に栽培スタート。

新たな特産品

バナナ以外でも、パイナップルはタイル料理店などが定期的に購入、コーヒーも今年から秋田市内のコーヒー店に販売する予定。
雪国の熱帯果物は、奇想天外「そんなバナナ」ものではなく、高い価値をまとった新たな特産品として確実に歩を進めている。



雪国ばななのパウンドケーキも販売(税込み300円)



パイナップルもたわわに

株式会社 秋田食産
 〒019-1541 仙北郡美郷町土崎字上野乙205-9
 TEL.0187-73-5046
 直売所 コムニタみさと
 〒019-1521 仙北郡美郷町中野字外城182
 TEL.0187-73-5037

ハウスで実った「雪国ばなな」(今年10月撮影)